

作業所「ゆず」を立ち上げて13年…

笠尾 智恵子(元・肢体不自由児を育てる会々長)



かたつむり21、サービスクループの皆さん、いつもお世話になっています。S・M・Cに毎回と言っていいほど参加させてもらっている笠尾竜一の母です。障害児を持つ親の会「肢体不自由児を育てる会」の会長として、皆さんと一緒に、

バザーなどに取組んだことが懐かしいです。その育てる会も解散して既に15年になりました。

息子は、1981年に重度の障害を持って生まれ、30歳を越えた今でも一人では何もできません。育てる会で走り回っていた頃、竜一は養護(現：特別支援)学校を経て茨木市立太陽の里にお世話になっていた時期でもあり、息子の将来の生活をどうするか…など気にはなりつつも、まだまだ先の話のように思っていたことも事実です。

ところが、太陽の里の園長先生に「7年間は通所できますが、その後の進路については保護者の方が探して下さい」と言われ、お先真っ暗になりました。重度の我が子の行き先を考えた時、笑顔で過ごせる場所の確保をどうすればいいか本当に悩みました。

あれこれ思い悩んでいた時、私たち障害児を持つ保護者が、我が子のために自らの力で作業所をつくっても良いのではと、ふと思いました。何もわからない素人なりに多少の無茶をしても、ここで踏ん張って施設を立ち上げるしかないと決心して、2001年10月に無認可の作業所「ゆず」を立ち上げました。ゆずの名前は、その頃人気上昇中のフォークデュオからの無断拝借です。

茨木市真砂2丁目のビルの一部をお借りして、開設資金500万円ほどは、夫の全面協力のもと預金をはたいて捻出しました。通所する仲間も6名集まり周りの人たちの助けや仲間の協力・援助に支えられて、はや13年間の月日が経ちました。

2009年には「特定非営利活動(NPO)法人」の認可をもらいました。作業所は、従来は障害種別の福祉法の体系にはない法外施設でしたが、2013年に施行された「障害者総合支援法」では「生活介護」を提供する事業所として位置づけられ、公的な助成金も受けられるようにな

ってきて、運営も軌道に乗り始めています。

「ゆず」には、月曜から金曜まで毎日30歳～50歳の男子5名、女子1名(内3名は開所時から)が通っていますが、全員を車で送迎しています。朝10時から午後3時までの間4時間が作業です。現在は、新聞販売店が販促で使うゴミ袋3枚をセットして袋に入れる作業です。200セット1箱を月間に100箱納めるので結構な作業量ですが、通ってくる仲間たちに支払えるのは月3千円だけです。だから、昼食代にもなりません。

作業所は、茨木市にも17カ所ありますが、「作業所」とは名ばかりで作業そのものがない所も多く、その点では「ゆず」はまだ恵まれている方も知れません。

親の老齢化や仲間の年齢などを考えると、そろそろ次のステップを考える時期にきていますが、なかなか先が見通せません。職員3名+パート運転手では現状維持が精一杯かもと考えたりします。

障害者に対する福祉制度はころころ変わって行きますが、どれだけ現状に沿っているの?と首をかしげなくなることも多いです。公的援助やボランティアの支援がもっとあれば願いますが、何とか頑張れるだけ頑張ろうと思っています。(NPO法人ゆず 理事長)



SG後援会「かたつむり21」

会長：黒川 芳朝 事務局長：松木 彰造

〒542-0081 大阪市中央区南船場1-10-12

TOWAローゼンビル長堀403

電話・FAX：06-6264-1919

事務局 Mail：qmdtj092@ybb.ne.jp

2014 SGサマー・キャンプ

今年のテーマは《ジブリ》



2014年8月14～16日

子どもたちの笑顔を励みにまた来年も…

sub PD 鴻野 佑哉



今回のキャンプでは、慣れ親しんだカウンセラーからsubPDという大役になりました。今年、猪名川から滋賀県・余呉のキャンプ場に変更したこともあり、新しい施設で昨年までのように上手に行くのだろうかと不安でしたが、いざキャンプがスタートするとその不安は吹き飛びました。それは全てのスタッフやリーダーが一致団結して子どもたちに楽しんでもらおうと自分の役割を懸命に果たしている姿、そして子どもたちの笑顔や楽しんでいる姿があったからです。

キャンプのテーマが《ジブリ》ということもあり、全てジブリに関連したプログラムで、子どもたちもすんなりとジブリの世界に入って楽しんで参加していました。三日間のキャンプを振り返ると反省点はいくつかありますが、子どもたちの笑顔に溢れたいいキャンプになったと思います。子どもからもらった「楽しかった」という言葉を励みに、来年もまた参加したいと思います。

参加者【キャンパー：中学・高校生11名、リーダー：延べ55名（内かたつむり7名）】

2014年 キャンプ場

ウッティパル余呉 森林文化交流センター



屋外に出られなくても皆笑顔一杯



全国的に異常気象。晴れ間を縫ってプログラムを実施（写真は旗揚げ）

SG活動の報告と今後の予定

サマーキャンプ以外の活動

- ★ S・M・C活動（実施済み）
 - 1回 2月23日 大阪市立科学館
 - 2回 4月 6日 万博公園（お花見）
 - 3回 5月25日 カップラーメン工場（池田）
 - 4回 6月15日 長居博物館
 - * 5回（7月27日 海水浴 高温注意報で中止）
 - 5回 9月21日 天王寺動物園
- ★ S・M・C活動（これからの予定）
 - 6回 10月25日 大阪行岡医療大学学園祭
 - 7回 11月 秋の紅葉を楽しもう
 - 8回 12月 クリスマス会
- ★ 資金活動（実施済み）
 - 4月13-14日 大阪水上隣保館桜バザー
 - * ホットドッグ店舗（約8万円の収益）

SGサマーキャンプに参加して①



初めてのパンづくりに挑戦…

佐川 哲也 (キャンパー)

僕がこのキャンプに参加したきっかけは、学校の友達が「キャンプ楽しいよ！」という話を聞いて、行ってみようと思ったからだ。そしてキャンプに行ったら最初は緊張したけど、だんだんボランティアの人達とも仲良くなって、友達もできてすごく楽しかった。

キャンプでは今年初めてパン作りに挑戦した。僕らはそれぞれ思い思いのパンを作り、トレイに乗せ焼き上がりを楽しみに待っていた。みんな嬉しそうだった。

次の日の朝、ご飯の時に出てきたパンは、作ったときとは違って全部一個にくっついていて、どうやら二次発酵の時にくっついてしまったようだ。でも、すごくおいしかった。特に胡桃入りのパンがおいしかった。

そして今、僕はSMCで1ヶ月に1回の集まりに参加している。すごく楽しく参加している。(高校3年)

SGサマーキャンプに参加して②



楽しいキャンプでした！

西山 芽生 (カウンセラー)

今回、2班のチーフという役割に少しドキドキだったのですが、とても楽しい2泊3日になりました？

テーマがジブリということで、ナイトハイキングでカオナシや湯婆婆がやってきたり、トトロが登場したり、カルシファーがキャンプファイヤーを盛り上げてくれたり、たくさんのジブリのキャラクターがやってきてくれてみんな大喜びでした！

天気はあいにくの雨模様が多かったのですが、パンづくりや松ぼっくりを使って写真立てを作ったりと部屋の中でも楽しい時間が過ごせました！新しい場所で慣れないこともあり雨だったりでしたが、みんな笑顔が絶えず楽しいキャンプになったんじゃないでしょうか。

私も夢のように夢じゃない楽しい時間を過ごすことができ、大切な夏の思い出になりました！(大学3年)

SGサマーキャンプに参加して③



とてもいい経験になりました！

大西 亜門 (プロパティ・メンバー)

私は今回のキャンプで2度目の参加でした。前はカウンセラーとして参加しましたが、今回はプロパティ・メンバーとして参加させて頂きました。

前回のキャンパーと関わる役割とは違い、今回はキャンプの裏方の役割で、プログラムを円滑に進めるために

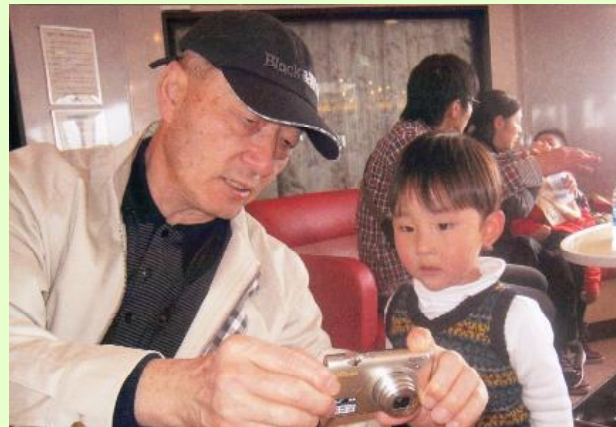
準備などを行いました。また、空いた時間などは昨年仲良くなったキャンパーの子たちと楽しく会話をすることができたので、自分自身では満喫できたキャンプでした。

今回のキャンプは前回と違う視点でキャンプを体験できたのでとてもいい経験になりました。また、次回もぜひ参加したいと思いました。(大学2年)

会員だより

サボりにさぼって…

本多 勝久



ご無沙汰しております。サボりにさぼっておりますが、協会員orほんの少し毛が生えた程度の幽霊会員として存在させて頂いています。

黒川さんはじめ、松木君、林夫妻、和ちゃん、久実ちゃん、小西教授等々なつかしく、楽しい思い出を経験させてくれた人たちの横を走り続けさせて貰ったことに感謝しています。毎号楽しみに見て西川夫妻やお世話になった方の変化を知ることができ、約49年の長さを感じさせないエネルギーを貰ってきました。

65歳でかたつむり21に復活できれば…と大ウソつきながら仕事優先の日々。親から引き継いだプラスチック関係の小さな会社を厳しい環境に翻弄されながら、何とか3つに広げて維持し、昨年67歳で息子たち3人にそれぞれバトンタッチして引退しました。今は従来からのユーザーさんと全く新しい開発に携わっています。

母は4年前に亡くなり、息子たちは皆結婚して5人の《孫持ち爺さん》になりました。今のシーズンは、嫁さんと運動会のハシゴで大忙しです。健康は少しは注意するようになりましたが大丈夫です。

ふと振り返れば68歳。考えればSGと関わったのは、ほんの少しの期間なのに、今でもキャンプや青柳ロッジ、光陽の運動会、ジュニアハイキング…等々の頃の懐かしい顔が浮かんできます。元気な子供たち、お母さん方の逞しさを思い返すと、まだまだ頑張らねばと思っています。(1970年度SG委員長)

2014 能勢オータムキャンプ お知らせ

** SG創立50周年プレキャンプ **

恒例の「能勢オータムキャンプ」のご案内です。

かたつむり21のオータムキャンプは、SG創立35周年に開催した「アニバーサリー・キャンプ」から15回目になりますが、来年はSG創立50周年という記念すべき年になり、今回はプレ50周年として、これまで以上に盛り上がりたいと思います。年々賑やかになっているこのキャンプは、障害者と一緒に能勢の秋を楽しむレクリエーションです。夜には豪華な夕食（松茸、カニ等々）や超美味なお酒（能勢の地酒・秋鹿）も用意しております。

お知り合いの方もお誘い頂いて、大勢参加して下さい。

- ・と き：2014年11月15日(土) 午後1時（集合）～16日(日)午後5時（解散）
- ・ところ：能勢ダイヘンキャンプ場 電話：0727-37-0080
- ・集合場所：SG/かたつむり21事務所（大阪市中央区南船場1-10-12 ローゼンビル長堀）前
（往路 事務所前から現地まで乗用車に分乗 帰路 主要ターミナル等最寄り駅まで）
- ・参加費：社会人/3,500円 学生/1,000円 障害者/1,000円 高校生以下/無料
- ・申し込み：案内状添付の返信用はがき、事務局宛のFAX・メールでご連絡下さい

会 員 短 信

※ 行事等の返信はがきで寄せられ会員の動静やメッセージの一部を抜粋しました。（順不同・敬称略）

西川 定男/千恵子（大阪市城東区）

長年住み慣れた新森(旭区)から今福鶴見のマンションに引っ越しました。歳を取り過ぎてからの決断で死にそうでした。

石谷 洋子（大阪府熊取町）

お便りをいただく度に、心なしか浮き浮きと出かけていた彼(主人・英治)の姿を思い出し、ちょっぴり感傷に浸ってしまいます。

森 秀樹（留守宅・枚方市）

今年もアメリカ生活です。元気に頑張っています。

片山 雅子（川西市）

4月は母の介護に専念していましたが、自分もとうとうそういう歳なんだなとつくづく思う日々です。

大西 聖治（徳島・東みよし町）

最近、運動オチの同級生がフルマラソンを完走しました。私も数年後にはエントリーしようとかと。ホント？

繁岡(旧:安藤) 純子（大阪市浪速区）

残業やらバレーボールやらで忙しくしています。今年、上の子どもは成人式、下は高校卒業です。

事務局からのお知らせとお願い

会費納入のお願い

SGに対する活動支援や本会の運営は、皆さま方からの会費に依存していますので、宜しくお願いします。

また、滞納されている方は、分割でも結構ですから納入のほどお願いいたします。

メールアドレス登録（変更）のお願い

かたつむり21では、会員の皆さんにメーリングリスト方式により情報を提供しています。パソコン（携帯電話も可）のメールアドレスをお持ちの方は、返信はがきに記入してください。変更された場合も、連絡をお願いします。



編集後記

近江・天女羽衣伝説で有名な余呉湖近くでの今年のキャンプ。天候不順もなんのその。創意工夫を凝らした「手づくりキャンプ」に老いも若きもエンジン全開・パワーアップ！ 巧みなお面づくりや、空き缶がローソク立てに？ビニール袋が雨カッパに変身？などなど、

真夏の夜の静けさも吹っ飛んだ！参加された皆さんお大変疲れ様。このご馳走＝楽しい思い出話を、語り継いでいきましょう！
(平田 紀男)